

平成28年度 学校経営全体計画

京都市立京北第二小学校

☆基本理念

「一人一人の子どもを徹底的に大切にし、しっかり育てる」

児童の実態

- 子どもらしく素直で明るい。
- 真面目に物事に取り組むが、学力の低い子どもがいる。
- 生活体験や社会体験が少ない。
- 自分の考えを表現できるようになってきた。
- 思考を働かせての主体的な取組が弱い。

【教育目標】

自分の未来を切り拓く
心豊かでたくましい児童の育成

家庭・地域の実態

- 教育に熱心であり、学校への信頼が厚い。
- 三世代家庭が多く、祖父母から多くのことを学んでいる。
- 豊かな自然と歴史に恵まれ、地域に誇りと愛着を持っている。
- 人材が豊富である。

【めざす子ども像】

いきいき わくわく 二小っ子

☆自分の考えを表現し、進んで学ぶ子
(問題解決的な学習展開、思考力・判断力・表現力を育む言語活動)

☆ふるさとを愛し、思いやりのある子
(ふるさとのよさに気づき、人ととのつながりを大切にする取組)

☆積極的にチャレンジし、粘り強くやり通す子
(あらゆる教育活動の中で達成感・成就感を味わう取組)

【経営方針】

「教育活動の更なる充実と地域ぐるみの学校づくり」

- (1) 教育公務員としての使命と責任を自覚し、全教職員で創意ある教育活動を展開し、学校全体の教育力アップを図る。
- (2) 学力向上プランに基づき問題解決的な学習を展開し、確かな学力を付けていく。
- (3) 子どもの実態や地域の特色を踏まえた特色ある学校づくりを推進する。
- (4) 学校教育活動の情報発信、学校評価による学校の説明責任、学校改善の推進を図る。
- (5) 一人一人のよさを認め、共に高まり合い競い合う学校にしていこうとする児童の校風の確立を図る。
- (6) 調べることができる蔵書を増やし、学習情報センターとして図書室を充実させる。
- (7) 京北小中一貫教育を軸に、これから京北地域の教育の在り方について考えていく。

【重点課題 目指す子ども像・経営方針へのアプローチの仕方】

(1) 自分の考えを表現し、進んで学ぶ子

- 子どもが主体的に進める授業の在り方（見通しをもった学習展開）
- 問題解決学習の展開（課題把握→自力解決→集団解決→ふりかえり）
- 言語活動・話し合い活動の充実（ネームプレートを活用し、比較・関連できる活動）
- ノート指導を中心とした学習規律の徹底（学び方を学ぶ）

(2) ふるさとを愛し、思いやりのある心豊かな子

- 生活科・総合的な学習を通して地域・ふるさとの良さを知り、地域の人の工夫や努力を考える取組（産業・文化・歴史・環境・福祉など）
- 色別活動（縦割り活動）を通じて、仲間意識を育てる。
高学年は、リーダーとしての自覚を低学年にはいい高学年像をもたせる。
- 「なかよしの日」の取組を通じておもいやりの心を育てる。
- 食に対する取組を通じて、望ましい食習慣を養う。

(3) 積極的にチャレンジし、粘り強くやり通す子

- 朝マラソン・朝の陸上教室で、自らの目標を目指し努力する取組を進める。
- 読書マラソンで目標をもたせ、集中して読書する習慣と読解の力をつけさせる。

教育指導の充実
・自分の考えをもたせ、思考・判断力を高める授業実践
・児童の心に響く心の教育
・高めあう学習集団づくり

校内研修の充実
・算数科を中心に関題解決の力と活用の力を育成する。
・児童理解や人権研修の充実
・ICTの活用

協働する教職員集団
・各主任による創意ある活動の展開
・教師のよさを生かし伸ばす学校経営
・リーダーシップの育成

保護者・地域の支援
・地域への情報発信や積極的な働きかけ
・学校評価による学校改善
・地域の自然、文化、人材を生かす取組
・学校運営協議会・学校評議員、諸団体との連携